

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果
(保育所等)

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人人材パワーアップセンター
所 在 地	千葉県松戸市稔台7-12-6コートルピナス102
評価実施期間	2025年6月10日～2025年10月10日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	AIAINURSERY幕張		
所 在 地	〒262-0032 千葉市花見川区幕張町5-5-187-1		
交通手段	JR幕張駅から徒歩8分 京成幕張駅から徒歩4分		
電 話	043-216-3930	F A X	043-216-3930
ホームページ	nusery.ai-cc.co.jp/facility/makuhari/		
経 営 法 人	AIAI Child Care 株式会社		
開設年月日	2007年3月3日		
併設しているサービス	手ぶら登園 (オムツサブスク)		

(2) サービス内容

対象地域	千葉市花見川区							
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	
	4	5	5	5	5	5	29	
敷地面積	㎡			保育面積			㎡	
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育	
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援	
健康管理	日々の視診や手洗いうがいを実施							
食 事	朝おやつ (乳児クラスのみ)、給食、おやつ (手作りのものを提供)							
利用時間	月～金 7:00-20:00 土7:00-18:00							
休 日	日、祝日、12月29日～1月3日							
地域との交流	老人会の方とイベント交流、幕張小学校との連携等							
保護者会活動	保護者会年2回、運営委員会 (委員の方のみ)							

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	10	2	12	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	10		2	
	保健師	調理師	その他専門職員	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	千葉市幼保指導課に連絡	
申請窓口開設時間	9:00~17:00	
申請時注意事項		
サービス決定までの時間		
入所相談		
利用代金	利用子どもが居住する市区町村が定める利用者負担(保育料)。 ※3歳児クラスから5歳児クラスまでの全ての子ども達の保育料は無償。	
食事代金		
苦情対応	窓口設置	あり
	第三者委員の設置	あり

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>一人でも多くの子どもが人間が生まれながらに持っている素晴らしい力を育むことに喜びを感じ、笑顔と元気が溢れた園を創造すること 向上目標／人間関係の向上・精神衛生の向上・身体機能の向上 育成目標／社会力の育成・養護力の育成・人間力の育成</p>
<p>特 徴</p>	<p>子どもの意欲や主体性に基づいて自発的な活動として、また生活や遊びの一部として○特化型学習プログラム IQパズル ○作業療法士が考案した運動プログラム ブレイクイットキッズ ○モンテッソーリ教育に基づく英語プログラム KOKORO lingua ○筋道を立てて考える「論理力」を養うプログラム ろんり があり実践している</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>本園の特徴を生かして日々の保育に取り組んでいます。また食育を通じて食べることの楽しさや食具の持ち方を学び、天気の良い日には毎日近くの公園に散歩に行っているため体力も持久力もついてきています。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
1. こどもたちは地域の人と交流する機会があります。
今年初めて「秋まつり」を計画し、ポスターを作成して駅やお店などに掲示し、地域の人に参加できるイベントを準備しています。内容は屋台コーナー、親子工作コーナー、絵本やおもちゃなどの寄贈コーナーなどです。また、スポーツセンターを借りて行った運動会では、プログラムに「小学生レース」を設けて卒園児だけでなく広く参加者がありました。また、毎月実施する避難訓練では、今後近くの店舗にお手伝いなどを依頼することを検討中で、地域の人と連携しようとする保育園の意向があります。
2. ICTの活用による保育の効率化と質の向上
法人本部方針に基づき、ICTツール「CCS3」を積極的に活用しています。連絡帳や日誌、午睡チェックなどの記録を効率的に行うことで、職員の事務負担を軽減し、子どもと向き合う時間をより多く確保できる体制を整えています。また、ICTの導入によって情報共有が迅速かつ正確に行われ、職員間の連携が強化されています。これにより、子ども一人ひとりの育ちや保護者との関わりにおいて、きめ細やかな対応が可能となり、保育の質の向上につながっている点が評価できます。
3. 福利厚生制度を通じた職員の働きやすい環境づくり
福利厚生においては、法人方針に基づき、育児休暇やリフレッシュ休暇など、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した制度を整備しています。休暇は職員が希望日をカレンダーに記入し、シフト作成時に管理者が調整する仕組みがあり、安心して休暇を取得できる体制が確立されています。
さらに取り組みが望まれるところ
1. 保護者からの苦情・意見の窓口の周知の工夫
保護者へのアンケートでは、「苦情や意見を気軽に相談できない」「窓口が分からない」といった回答が多く見られました。保護者が登園時などに施設長へ気軽に声をかけるには、本園と分園に分かれていることからタイミングが合いにくい点も要因と考えられます。入園当初の説明で周知は行っていますが、改めて周知を図る工夫を行うことを期待します。
2. 組織内体制づくりで保育環境整備の工夫
登園が本園と分園に分かれているため、施設長が日常の保育活動や保護者との接点を密に持つことが困難な状況です。日常的に施設長をサポートする体制が必要となります。そのため、組織内体制の強化を図り、それぞれの場所で保育活動と保育環境づくりを進めていくことを期待します。
(評価を受けて、受審事業者の取組み) 窓口が分かりやすいように玄関などに掲示を行います。また分園、本園の職員に保護者からのご意見がある際には必ず報告を上げること、迅速な対応が出来るように職員同士が密になり共有できるよう連絡ノートなども活用する。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目	
				☑実施数	□未実施数
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	0
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	0
			4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	0
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	0
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	0
		職員の質の向上への体制整備	7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	0
			8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	0
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5	0
			10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	0
1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	0	
		12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0	
		13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0	
2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3	0	
		15 提供する教育及び保育の標準の実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0	
3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0	
		17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	3	1	
II 適切な福祉サービスの実施	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0
			19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0
		項目別実施サービスの質	20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	0
			21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0
			22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0
			23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0
			24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	4	0
			25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6	0
			26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	6	0
			27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	4	0
			28 家庭との連携が十分図られている。	3	0
			29 地域社会との連携が十分図られている。	3	0
			30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	3	0
子どもの健康支援	31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0		
	32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4	0		
	33 食育の推進に努めている。	5	0		
	食育の推進				

5	安全管理	環境と衛生	34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0
		事故対策	35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	0
		災害対策	36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6	0
6	地域	地域子育て支援	37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5	0
計					158	1

項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
(評価コメント) 理念・方針を園内の見やすい場所や保育室内に掲示し、昼礼や職員会議で復唱や読み合わせを行っています。職員には会議や日常の打ち合わせを通じて周知し、理念の実践状況を振り返っています。事業計画、入園案内、配布リーフレット、ホームページにも理念・方針を明記し、経営理念のもと行動指針や社訓、保育理念から目指す方向性を示しています。向上目標や育成目標に人権擁護や自立支援の精神を盛り込み、入社時には社史を配布し研修で理念を説明しています。	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
(評価コメント) 理念・方針を園内の利用者にも見やすい場所やエントランス、保育室内に掲示しています。園見学や入園前の説明会、面談の場、重要事項説明書の説明時、運営委員会などで保護者に伝えています。保育目標に基づき、こども一人ひとりに応じたねらいや支援方法、結果を記録しています。園の方針や取り組みは年度初めのクラス懇談会で施設長とクラス担任が説明し、保護者に理念・方針や園の実践を一貫して伝える体制を整えています。	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
<input checked="" type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。	
(評価コメント) 事業計画は年度初めに施設長が中心となって作成し、年度末には主任とともに事業報告書を作成して運営委員会が評価・振り返りを行っています。保育計画は園児の体調や感染症、天候などの変化に応じて内容を変更・中止する場合があります。その際は職員間で協議しています。園の運営状況や日常の保育活動は昼礼や職員会議で共有し、必要に応じて記録を残しています。次年度計画策定にあたっては課題や改善点を話し合い、会議記録にまとめています。会社および園の方針や課題の周知は職員会議や園内研修、法人研修を通じて行い、全職員に周知する体制を整えています。	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
(評価コメント) 本社ブロック研修やキャリアアップ研修に参加し、保育の質向上に努めています。昼礼や職員会議では職員の意見を取り入れ、行事内容の改善や業務分担の工夫などにつなげています。施設長と職員は日常的に対話し、年2～3回の1on1面談を定期的に行い、必要に応じて随時話し合う機会を設けています。園内研修は施設長が進行役を担い、全職員が参加して日常の課題や専門性向上を共有しています。園の特徴としてアパートの1室(202)に隔離された事務室があり、そこでの施設長と職員の個別面談が容易にできる環境があります。	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
(評価コメント) 職員に保育ガイドラインや事故防止ガイドラインなどのマニュアルを配布し、就労の心得や事故防止の基本を共有しています。昼礼の最後にマニュアルの読み合わせを行い、全体への周知と意識づけをしています。行政監査や巡回指導で指摘のあったプライバシー保護についても昼礼や職員会議で具体的に伝え、職員が日常業務で留意できるよう取り組んでいます。	
6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
<input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。	
(評価コメント) ICTツール「CCS3」を活用し、連絡帳や日誌、午睡チェックを効率的に行っています。活動中に生じた課題は昼礼などで職員が話し合い、改善策を抽出して日常の保育に反映しています。福利厚生は法人全体の方針に基づき、育児休暇やリフレッシュ休暇など職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した制度を整えています。休暇取得は職員がカレンダーに希望日を記入し、シフト作成時に管理者が調整して、職員が安心して休暇を取得できる体制を確立しています。	

7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員の定着と育成に向け、正規職員は2か月に1回、パート職員は月1回の1on1面談を実施し、困りごとの把握と改善に努めています。副主任や専門リーダーと協議し、現場の声を踏まえて組織強化策を検討しています。役割と権限は副主任や専門リーダーの体制を明確にして周知しています。評価は年度当初に人事評価シートで基準を説明し、年2回(7月・2月)の自己評価チェックシートと1on1面談で結果のフィードバックを行っています。法人のマニュアル読み合わせや法人ライセンス試験を活用し、職員の長所を認めて得意分野を生かす運用を進めています。</p>		
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>専門職の配置として同法人内に発達支援を専門に行う部署があり、連携を図って保育に活かしています。人材育成は法人が定める年間カリキュラムに基づき研修を行い、施設長が進捗を掲示や配布で職員に周知し、管理しています。人材の確保は本社の関係部門と連携し、園の要望を所定のXポイント(AIAI内で使用するアプリ)を使用して容易に申請する仕組みを整えています。これらの取組で専門性を高め、安定した人材体制の確保を進めています。</p>		
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>法人が策定した年間カリキュラムに基づき研修を実施し、中長期的な人材育成計画として位置づけています。園内研修は施設長が進行役を担い、全職員が参加しています。キャリアアップ研修も職員が主体的に参加しています。研修後は「どのような研修で専門性や実践力が向上するか」を振り返り、人材育成に活かしています。個別の育成計画や目標は法人が作成した人事評価シートをもとに作成し、職員との1on1面談で共有・確認しています。OJTは研修計画表を掲示・配布し、日常の保育実践を通じて段階的に習得できる仕組みを整えています。</p>		
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
<p>(評価コメント)</p> <p>社内のコンプライアンス研修や不適切保育防止研修に参加した職員が昼礼や職員会議で継続的に取り上げ、一人ひとりが意識を持って保育に取り組めるよう進めています。日常の保育活動では、食事の場面でこどもが自分の食べたいものから食べ進められるようにするなど、こどもの意思を尊重する工夫をしています。職員の言動や対応については、昼礼や職員会議、個別の場で伝え合い、相互に振り返りを行い、不適切な関わりや言動が起きないよう組織的に取り組んでいます。</p>		
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
<p>(評価コメント)</p> <p>保護者に個人情報の取り扱いに関する書類を配布し、利用目的を明示しています。職員には法人が用意した個人情報取り扱い書面を活用し、昼礼などで繰り返し周知しています。実習生やボランティアには勤務開始前のオリエンテーションやOJTで個人情報保護の考え方を伝えていきます。園内には個人情報に関する掲示を設置し、園全体で適切な取り扱いを徹底する体制を整えています。</p>		
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
<p>(評価コメント)</p> <p>行事ごとのアンケートや年度末の園運営アンケートで保護者の満足度を把握しています。要望や苦情は担当が受け、苦情解決責任者の施設長が対応する体制を整えています。必要に応じて本社や第三者委員への相談窓口も用意しています。保護者との面談は担当または施設長が行い、園内の専用室(本園上の202号室)を使用し、落ち着いた環境で話し合えるように配慮しています。要望や苦情の内容は記録に残し、改善につなげています。</p>		
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
<p>(評価コメント)</p> <p>相談・苦情対応窓口と担当者を重要事項説明書に明記し、保護者に周知しています。法人が作成した相談・苦情対応マニュアルをもとに職員への周知も行っています。相談や苦情があった際は施設長が面談を行い内容を確認し、その経過と解決策を「相談・苦情報告書」に記録していきます。解決内容は必要に応じて保護者に説明し、速やかな対応とフィードバックを行う体制を整えています。</p>		

14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
毎年2回、自己評価を実施し、その結果をもとに改善に努めています。保育の質向上は本部や母店(ちはら台)施設長と相談しながら研修を企画・実施し、内部研修と外部研修の双方を取り入れています。日常の保育活動では本園・分園でのミーティングを通じて職員間で意見交換を行い、改善点を共有しています。ブロック単位での研修にも参加し、保育の質を高める取り組みを進めています。副主任などを交えて質向上をテーマに話し合いを行い、園全体で保育の質の維持と向上を目指す体制を整えています。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
法人が作成した業務マニュアルの昼礼時に読み合わせを行い、日常業務の基本を明確にしています。園内マニュアルの見直しには職員がリーダーとして参加し、現場の意見を反映できる仕組みにしています。新人育成では法人が作成したマニュアルを活用し、OJTを通じて指導しています。これにより、職員が共通理解を持って業務を進める体制を整えています。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
園見学や問い合わせには誠心誠意対応することを心がけています。見学の受付は本社からのメールや園への電話で行い、対応は施設長が担当しています。園見学は定期的に行われ、件数や訪問者の記録も残しています。地域住民には土曜日保育を活用して保育の体験会、読み聞かせ会などを実施して開放し、保育内容や園の取り組みを説明して地域や保護者からの信頼を得られるよう努めています。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント)			
年初に保護者説明会を実施し、5月に全体説明の形で開催しています。懇談会では重要事項説明書に基づいて説明し、各担当が年間方針に基づく教育・保育活動を伝え、保護者の質問にも答えています。個人面談は日常的な登降園時や必要に応じて行い、保護者の意向を把握する機会としています。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協働体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
保育理念や方針を踏まえた全体的な計画を作成し、それをもとに年間カリキュラムを立て、月案・週案へ展開して日々の保育に反映しています。こどもの家庭の実態把握は個人面談や登降園時の保護者との会話で行っています。地域性や家庭環境に基づく特別な配慮は現状では設けていませんが、職員会議や昼礼で職員の見解を取り入れながら計画を立案し、全体の流れを共有する仕組みを整えています。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
週案や月案に基づいた日々の保育を実施し、その活動の評価や反省を通じて次の保育に活かすよう努めています。こどもの家庭状況については適切に把握し、計画に反映させています。全体計画を作成する際には、地域性や家庭環境を踏まえて特別な配慮を行っています。計画作成は月案終了後に行い、年間カリキュラムは四期に分けて記載しています。職員からの意見は直接改善点を伝えたり考えさせたりする方法で取り入れています。さらに、職員が主体的にコーナー分けを工夫したり、動きのある遊びには広いスペースを確保するなど環境設定を工夫しています。			

20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場所が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
(評価コメント)			
全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な年間指導計画と短期的な月案・週案を作成しています。こどものやりたいこと、興味・関心のあることを保育者はくみ取りながら、発達段階に即した玩具や遊具(平均台、マット、トンネルなど)を用意し、ダンスやリミックなどを取り入れての運動遊びやダイナミックな遊びができるよう援助しています。			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
食事と睡眠の場所を分けた環境にし、雨天時でも室内で動きのある遊び(トンネルくぐり、ボール遊び等)ができるような環境を整えています。降園時や連絡帳にて、保護者にこどもの様子を伝えることで安心して預けてもらえるようにしています。個別に相談があった際は個別面談を行い支援しています。こども一人ひとりの生育歴や発達の情報は本園・分園でミーティングし、職員間の共有を図っています。			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周知の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
靴下を脱ぐ、手洗いをする、排泄などの基本的な生活習慣について、こどもの「自分で」の気持ちを大切に見守り、自分でできた達成感を感じてもらい工夫をしています。降園時や連絡帳にて保護者と連携を図り、個別に相談があった際は随時対応し報告有面談用紙に記録しています。こども一人ひとりの情報はクラスノートや本園・分園のミーティングで共有しています。			
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
本園(2~5歳児)、分園(0,1歳児)と元々異年齢で毎日過ごしているため、こども同士の関わりが多くあります。こどもが自由に遊べるよう、年齢に合った玩具などでコーナー分け(ぬりえ、おままごとなど)し、遊びを楽しむ空間を作っています。降園時や連絡帳にて保護者と連携を図り、個別に相談があった際は、随時対応し報告有面談用紙に記録しています。こども一人ひとりの情報はミーティングで職員間の共有を図っています。			
24	身近な自然や地域社会と関わるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
(評価コメント)			
おさんぽマップ(避難場所の掲示も)を園内エントランス付近に掲示しています。近くの公園へ散歩に行く途中、こどもたちは地域の人に手を振り、挨拶をするなどの機会があります。また、植物図鑑(小さく持ち運べるもの)を持参し一緒に調べたりしています。幼児(4,5歳児)の遠足(11月、葛西臨海公園)では電車とバスを利用するなどの社会体験の機会があります。こどもたちの製作は毎月季節感のあるものを作成しています。			

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> とも同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、とも達同士で解決するように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> ともが役割を果たせるような取組みが行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> ともが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢のともとの交流が行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育者はとも同士の関係づくりに、乳児には分かりやすく短い文で、幼児には具体的に説明するなどの適切な言葉かけをしています。けんかなどあった場合、保育者はとも同士の気持ちをくみ取り代弁したりと仲立ちをし、とも同士で解決できるよう支援しています。当番活動(朝の会進行など)などを通じてともたちが協同で活動したり、遊びの中での順番やルールを繰り返し伝えるなどの援助をしています。</p>		
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> とも同士の関わりに対して配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>個別の指導計画に基づき、とも同様に合わせた配慮をし記録に残しています。障害児に関わる職員は民間の児童発達支援士・発達障害コミュニケーションサポーターの資格を得て対応しています。保護者と専門機関(BRIDGE 4)、そして保育園が連携を取り、ともに対する必要な援助を行っています。</p>		
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員の引き継ぎは登園簿表に記載したり、伝達ノートを活用した引き継ぎをし、伝言があれば保護者に伝えます。また必要に応じて(かみつき、ひっかけ)電話をして説明することもあります。異年齢で遊ぶ際、遊ぶ玩具も年齢に合ったものを複数用意したり、長時間保育のこどもの気持ちに寄り添うなどの配慮をしています。</p>		
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>降園時に時間を取り、保護者との情報交換や発達・育児について話し、相談事がある際は面談を行って記録に残しています。外国籍家庭に対しては分かりやすい日本語で伝えたり、ひらがな書きをするなど個別の配慮をし、電話での対応も行っています。</p>		
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のともと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。
<p>(評価コメント)</p> <p>今年初めて「秋まつり」を開催する予定で、中学校のボランティア部や高齢者との交流を行います。幕張小学校との連携(学校訪問、校庭使用など)を図り、別の小学校にも直接電話するなどのアプローチをかけています。保育所児童保育要録を持参し、情報共有しています。</p>		
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>千葉市西部児童相談所が関与しているこどもについては、毎日目視で体の傷・挙動について変化があるかどうかを確認し、変化があれば施設長が連絡し、個別ケース検討会議等の連携をとっています。</p>		

31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
<p>(評価コメント)</p> <p>年間保健計画を作成し、嘱託医による年2回の内科健診、年1回の歯科健診を実施し、記録に残しています。毎月の身体測定の結果は、保護者にアプリ上で配信しています。朝の登園時の視診を行い、異変があれば登園簿表に記録しています。職員はSIDSに関する知識をマニュアル読み合わせすることで周知し、アプリ内のSIDSチェック表に入力するなど必要な取り組みを行っています。</p>		
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>感染症発生時は口頭や一斉メールで保護者に周知しています。また、隔離や消毒などを徹底しています。こどもが体調不良になった際は、保護者の緊急連絡先に連絡し、お迎えの依頼をします。けがの場合は適切な処置を行い、保護者へ連絡し、病院受診の確認をとりず。同時に病院へ受診する旨を伝え、施設長がこどもに同行します。保護者の希望があれば同席をお願いしています。各保育室に嘔吐処理一式を備え、職員研修を今後行う予定です。救急用の薬品は保育室とお散歩用リュックに用意しています。</p>		
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じて、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
<p>(評価コメント)</p> <p>栄養士が年間食育計画を作成し、年齢に応じた(1～5歳まで)クッキングの内容を考え、取り組んでいます。例えば乳児は食材に触れる、皮をむく。幼児はトマトの栽培やクッキングなどです。栄養士は食事介助や給食時の巡回でこどもたちとの関わりを持っています。こどもが食事を楽しくめるよう工夫しています。例えば自分の好きなものから食べる、幼児は友達と話をしながら食事ができるよう向かい合わせで座るなどです。</p>		
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>各保育室内の温・湿度を管理し、換気、採光などの環境を適切な状態にしています。また、希釈液を使つての清掃(玩具やこどもが触れる部分の消毒)をすることで、室内の衛生管理に努めています。未満児には保育者が一緒について手洗いを行い、幼児には見守りながら声かけしたり、難しい時には一緒に手洗いすることで清潔を保つようにしています。保育室内の整理整頓を心がけています。</p>		
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 危険箇所(point)の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員は事故発生時の対応マニュアルを昼礼時に読み合わせを行い周知しています。設備や遊具などの安全点検を毎日行い、保育者同士で危険箇所の確認を行っています。ヒヤリハット報告書、軽度事故報告書を作成しています。不審者訓練については警察に依頼し、実践さながらの内容で行う予定があります。</p>		
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に避難訓練を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>災害発生時の対応マニュアルと職員の役割分担を掲示しています。毎月1回、避難訓練を実施し、評価反省を自衛消防訓練実施報告に記録し、千葉市花見川消防署に提出しています。防火に関する自主検査表にも毎日記録しています。地震に備えて転倒・転落防止を設置しています。保護者等と行う引き取り訓練では、災害伝言ダイヤルにて伝える、保護者名を記載し、送迎カードやあいことばを確認したら引き渡すということでの安否確認方法が決められています。職員間はLINEを利用します。</p>		

37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
<p>地域の親子が参加できる保育園体験会・子育て相談会(年2回)を実施し、親子遊びコーナーや子育てコーナー、保育体験コーナーを設け9月は16組の親子の申し込みがあります。終了後はアンケートを取り今後の参考にしています。また、イベントとして絵本読み聞かせ会や簡単な親子工作会などを計画しています。地域の子育て支援に関する情報(パンフレットなど)を園内エントランス付近に設置しています。</p>			